

H23.12.10

# 職域における飲酒の問題



**長尾和宏 (ながお・かずひろ)**  
東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。平成7年、尼崎市で「長尾クリニック」を開業。外来診療から在宅医療まで“人を診る”総合診療を目指す。医学博士。労働衛生コンサルタント。53歳。ブログ (<http://www.nagaoclinic.or.jp/doctorblog/nagao/>) が好評。

しかし、企業活動において飲酒の果たす役割はいまだに大きくなり、営業成果や人間関係

大きく変化しました。従来の終身雇用に伴う家族主義的な經營から欧米型の成果主義、な

いし個人主義的な經營に移行。それに伴いお酒を介した懇親や接待の機会は、昔に比べて確実に減っています。

今回は職域における飲酒の問題について考えてみます。日本企業の労働環境は大きく変化しました。従来の終身雇用に伴う家族主義的な經營から欧米型の成果主義、な

いし個人主義的な經營に移行。それに伴いお酒を介した懇親や接待の機会は、昔に比べて確実に減っています。

**Dr. 和の町医者日記**

「アルコール」シリーズ②

習慣病が大変密接な関係にあることが知られています。ためしてある事務系企業の最近の調査結果を見てみましょう。

男性の19%、女性の60%はまつたく飲酒習慣がありませ

んでした。一方、1日3合以上

の構築、ストレス解消などさ

まざまな飲酒の効用もありま

す。職域におけるお酒の問題

は意外に難しい問題であると、産業医をしていて常々感じています。

さて、職場検診の必須項目

のひとつに、γGTPがあり

## γGTPに着目した生活習慣病対策を

の構築、ストレス解消などさ

まざまな飲酒の効用もありま

す。職域におけるお酒の問題

は意外に難しい問題であると、産業医をしていて常々感じています。

さて、職場検診の必須項目

のひとつに、γGTPがあり

ます。アルコール性肝障害や

・3%でした。

注目すべきは、γGTPが50

以上の人に、糖尿病、脂質異

常症、高尿酸血症などの生活

・3%でした。

注目すべきは、γGTPが50

以上の人に、糖尿病、脂質異

常症、高尿酸血症などの生活

・3%でした。

注目すべきは、γGTPが50

以上の人に、糖尿病、脂質異

常症、高尿酸血症などの生活

・3%でした。

さらに、γGTPが100以上

の人は男性の12%、女性の1

・3%でした。

注目すべきは、γGTPが50

以上の人に、糖尿病、脂質異

常症、高尿酸血症などの生活

・3%でした。

注目すべきは、γGTPが50

以上の人に、糖尿病、脂質異

常症、高尿酸血症などの生活

・3%でした。

注目すべきは、γGTPが50

以上の人に、糖尿病、脂質異

常症、高尿酸血症などの生活

・3%でした。

注目すべきは、γGTPが50

以上の人に、糖尿病、脂質異

常症、高尿酸血症などの生活

の構築、ストレス解消などさ

まざまな飲酒の効用もありま

す。職域におけるお酒の問題

は意外に難しい問題であると、産業医をしていて常々感じています。

さて、職場検診の必須項目

のひとつに、γGTPがあり

ます。アルコール性肝障害や

・3%でした。

注目すべきは、γGTPが50

以上の人に、糖尿病、脂質異

常症、高尿酸血症などの生活

・3%でした。

注目すべきは、γGTPが50

以上の人に、糖尿病、脂質異

常症、高尿酸血症などの生活

・3%でした。

注目すべきは、γGTPが50

以上の人に、糖尿病、脂質異

では組織としての問題にもなりません。大量飲酒者の脳をCTで診ると、年齢に比べて萎縮があります。アルコール依存症の前段階、いわゆる「隠れ依存状態」で、小脳が萎縮し、醉っていなくても千鳥目立ちます。とくに小脳が萎縮すると、歩行困難になつた大量飲酒者は、「脳の萎縮をなんとか元に戻してほしい」と懇願していることがあります。アルコール問題も大きな課題になつていています。

ついで、飲酒量を反映する肝臓や胆道に病気があると上昇し、アルコールによる肝障害や脂肪肝などの指標となる。正常値は男性50以下、女性32以下。



ガム

γGTP

肝臓の解毒作用に関連した酵素

で、飲酒量を反映する。肝臓や胆道に病気があ

る

る

と上昇し、アルコールによる肝障害や脂肪肝などの

指標となる。正常値は男性50以下、女性32以下。